



「生き方を学び合おう、高め合おう」

－生徒も先生も保護者も－

学校便り

白山市立松任中学校

令和8年9月1日

第7号

令和8年度学力調査の結果について

4月に3年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査及び石川県基礎学力調査（以下、学力調査）における本校の状況をお知らせします。

学校では、学力調査の結果について分析・考察を行い、生徒が「確かな学力」を身に付けられるよう、これまでの学習指導を振り返り、授業の改善に努めてまいります。

なお、3年生には個人の結果を9月3日に返却する予定です。

◇教科に関する調査◇

分析・考察および今後に向けて



教科	分析（○良好 ▲課題）	今後に向けて
国語	○話し合いで述べられている内容を関連付けて考える問題や、文脈に即して正しく書く問題を解く力は身に付いている。 ▲単語の類別の問題や、話し合いの中の発言について説明したものに対する問題は自信を持って解答できていない。	・単語の類別に関する問題は、学習端末を活用し、反復練習に取り組ませる。 ・生徒たちが思考したことを明確化させるために板書することや、思考したことを言語化できるように、学び合いの活動を取り入れる。
社会	○全体を通して無回答率が低く、問題を解こうとする意欲が見られた。基礎的・基本的な用語を問う問題はよくできていた。 ▲複数の資料を関連付けながら説明する問題の正答率が低い傾向にある。 地理分野の世界のさまざまな地域「北アメリカ州」の正答率が低い傾向にあった。	・資料を読み取る力を鍛えることに加え、それらを関連付けて、社会的事象を説明させる授業を展開する。 ・小テストを活用して、前時の知識の定着を図る。 ・次回に扱う用語を家庭で調べてくるなど、復習だけでなく、予習を行うよう指導する。
数学	○無回答率が低く、自ら問題を解こうとする姿勢が見られた。「思考・判断・表現」を問う記述式の問題に対して、必要な情報を見つけて解答する力が身に付いてきている。 ▲既習事項が十分に身に付いておらず、「知識・技能」を問う問題に対して難しさを感じている様子が見られた。	・数式や文字式の基本的な計算技能を高めるために、音声計算やeライブラリなどを利用した問題演習の時間を取る。 ・小テストを活用して、既習事項の意味理解の定着を図る。 ・家庭学習をする際に、課題の選択肢を複数提示し、自分の習熟度に合わせて取り組めるように指導する。
理科	○基本的な知識や技能を問う問題はよくできており、それらの力が身に付いている傾向にある。 ▲知識・技能を活用し、思考力、表現力や理学的な見方・考え方を働かせる問題については難しさを感じている傾向にある。	・基本的な学習内容の定着が図られるよう、知識を定着させる場面を設ける。 ・理学的な見方・考え方を働かせる場面や思考を要する場面において、個人で考える時間を確保するとともに、多様な考えに触れる場面(学び合いの場面)を意図的・計画的に設定する。
英語	○「読むこと」の設問で、日常的な話題について書かれた文章から必要な情報を読み取る問題はよくできていた。 ▲語彙や文法などの言語の働きの知識を活用して書くことに難しさを感じている。	・知識を活用して英文を書く力をつけるために、自分の考えや意見を書く機会をより多く設ける。また、1文だけで終わらず、理由とともに3～4文以上書ける力がつくよう指導する。

【松任中学校ホームページでもご覧いただけます】

◇質問紙調査（抜粋）◇

①結果

【「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた本校生徒】

☆自分や将来の夢についての質問☆	令和8年	令和7年
自分には、よいところがあると思う。	79.7%	92.3%
将来の夢や目標を持っている。	60.6%	70.4%

☆主体的・対話的で深い学びについての質問☆	令和8年	令和7年
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	96.2%	95.1%

☆家庭学習に関わる質問☆						
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。						
時間	3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満	全くしない
本校	8.3%	18.7%	28.6%	24.5%	12.0%	7.9%
県平均	3.9%	14.6%	35.7%	28.0%	12.9%	4.5%

②分析・考察および今後に向けて

分析・考察	今後に向けて
《将来の夢や自分について》 自己肯定感が高い生徒、将来の夢や目標を持つ生徒の割合は昨年に比べ、共に減少した。	- 生徒の自己肯定感を高めるため、授業に加え生徒会委員会などの教師が生徒を認め、価値づける場面を増やす。 - キャリア教育学年指導目標（1年：自分を知る、2年：社会を知る、3年：進路を選択する）に基づき、計画的に自身の将来について考える機会を設定する。
《主体的・対話的で深い学びについて》 授業では、学び合いの場を設定することを共通実践しており、主体的・対話的で深い学びの項目に肯定的に回答した生徒の割合が昨年よりやや向上した。	学び合いの場の設定に加え、さらに生徒の学び合いの質を高めるために、ねらいを明確にした学び合いを意図的・計画的に指導する。
《家庭学習について》 平日は、半数以上の生徒が家庭学習に1時間以上取り組むことができている。	- 家庭学習の習慣を身に付けるために、学年に応じて毎日の自学ノートやシート学習を継続する。 - 計画的な学習習慣を身に付けるために、定期的に学習コンテストや小テストを継続して行う。 